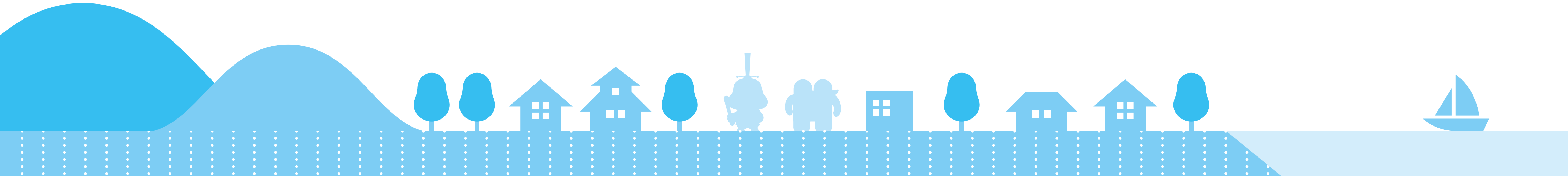
概要版

第３次大津市地域福祉計画
第５次大津市社会福祉協議会地域福祉活動計画

一人ひとりを認めあい、支えあう、おおらかなまち“大津”



『地域福祉』って何だと思いますか？

「誰もが、住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らしていく」ために、
さまざまな主体（行政、社会福祉協議会、住民、関係団体、NPO、事業者など）が連携し、
制度の充実とともに、人と人のつながりや協働を大切にすることで、
自治と共生のまちをつくっていくこと、それが『地域福祉』です。

その『地域福祉』について、さまざまな主体が一丸となり、連携し包括的に取り組むための計画が
「第3次大津市地域福祉計画・第5次大津市社会福祉協議会地域福祉活動計画」です。

市と市社協が協力して、“1つの計画”をつくりました!

大津市と大津市社会福祉協議会は、これまで地域を取り巻くさまざまな課題の解決に向けて、
ともに協力しあい、他の組織も含めた連携関係を築いてきました。
一方で計画は、内容の整合を図りつつ、それぞれにつくってきました。

今回、両計画を一体的な計画としてつくることで、連携をさらに強め、地域福祉の推進に取り組んでいきます。

地域福祉の計画づくりの経過

地域福祉計画
大津市

- 平成19(2007)年
  【第1次】:基本理念
  「一人ひとりを認めあい、
  支えあう、
  おおらかなまち“大津”」
- 平成24(2012)年
  【第2次】:基本理念
  「一人ひとりを認めあい、
  支えあう、
  おおらかなまち“大津”」

地域福祉活動計画
大津市
社会福祉協議会

- 昭和63(1988)年
  【第1次】
  大津市における
  地域福祉の推進計画と
  活動指針
- 平成10(1998)年
  【第2次】
  大津市における
  第2次
  地域福祉活動指針
- 平成20(2008)年
  【第3次】:基本理念
  「市民・当事者の側から
  福祉のまちづくりを
  推進」
- 平成25(2013)年
  【第4次】:基本理念
  「市民・当事者が主体の
  福祉のまちづくりを
  進めます」

平成29(2017)年
市:第3次
市社協:第5次

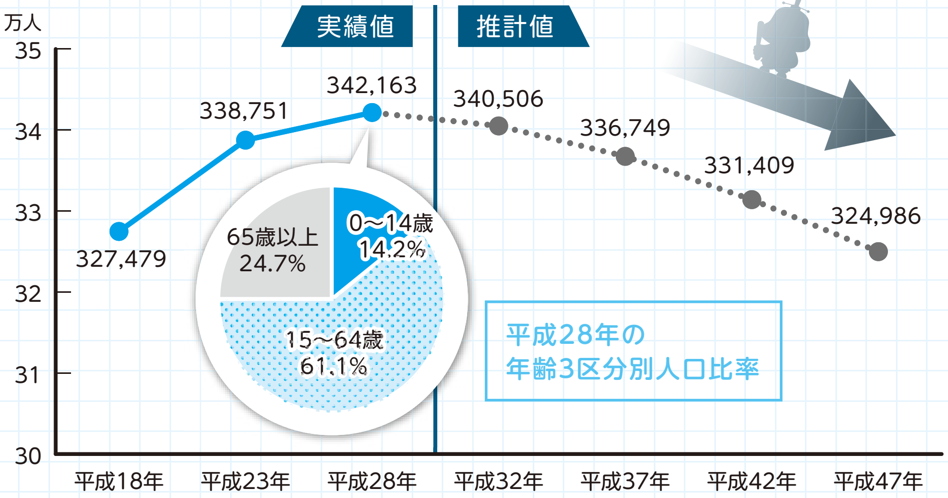
基本理念
「一人ひとりを
認めあい、支えあう、
おおらかなまち
“大津”」

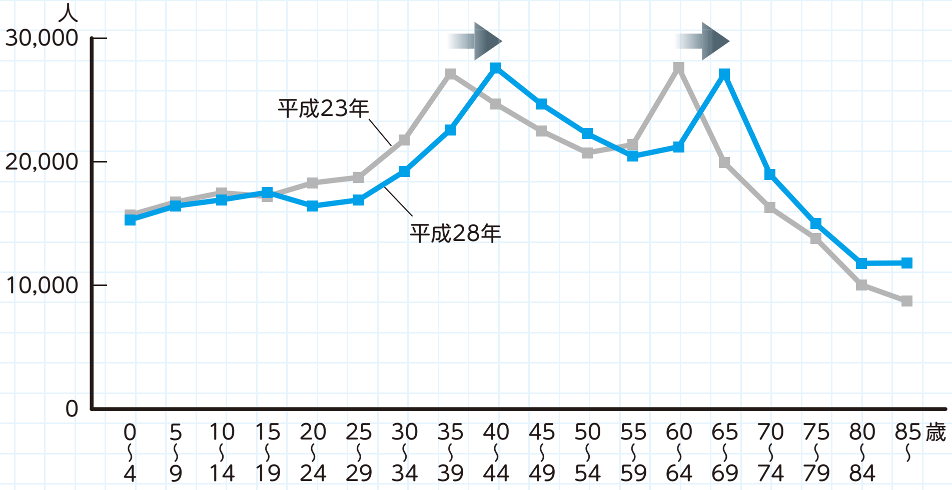
いま、大津市では…、
そして“未来”はどうなるでしょうか…

全国的に少子高齢社会が進行する中、大津市でも人口増加のピークを迎え、さまざまな課題が顕在化してきています。
高齢化の進行による要介護状態の人の増加、身近な地域の人と接点を持たない人の増加、
生活に困窮する人や家族の増加。さらに、相次ぐ大規模地震や豪雨等の災害の発生。
こうした中、地域の支えあい・助けあい、地域の絆の重要性が見直されています。

大津市は人口増加社会から、人口動態の分岐点を迎え、今後は人口減少社会へ

■ 人口推移及び推計



人口が特に多い団塊世代が65歳以上の高齢者となり、高齢化率が上昇

■ 年齢別人口の状況（各年4月1日現在人口）